
I ちょうさがいよう 調査概要

① 調査目的

日本人県民と外国人県民が共に暮らしやすい多文化共生のまちづくりを進めるために、外国人県民の現状及び課題、ニーズなどを把握し、施策推進の資料とします。

② 調査対象者

愛知県内で外国人県民の多い上位16市に居住する満18歳以上の外国人県民を無作為に8,000人抽出。

【対象市】

名古屋市・豊橋市・岡崎市・一宮市・瀬戸市・半田市・春日井市・豊川市・碧南市・刈谷市・豊田市・安城市・西尾市・小牧市・知立市・高浜市

③ 調査方法と調査期間

郵送調査およびWEB調査

(調査票およびWEB調査用のログインIDを郵送し、後日調査票を返送するか、WEB上で回答。)

令和3年11月5日～同年11月29日

④ 主な調査項目

- 回答者の属性
- (性別・年齢・国籍・居住地など)
- 日本語能力などについて
- 仕事について
- 住居について
- 子どもについて
- 地震などの災害について
- 地域や日本人との関わりについて
- 車について
- 行政サービスについて
- 新型コロナウイルス感染症について

⑤ 調査票言語

英語、ポルトガル語、中国語、フィリピン語、ベトナム語、スペイン語、インドネシア語、ネパール語、日本語(ふりがな付き)の調査票を使用しました。

⑥ 回収率

対象者8,000人中の回収率 27.2% (対象者数8,000人中2,172人)

実質回収率 28.5%

(転居等で調査票が届かなかった対象者を除いた実対象者数7,628人中2,172人)

実質回収率

対象者数 A	転居等 B	実対象者数 C	回答者数			回収率 F/C
			郵送 D	WEB E	計 F=D+E	
8,000人	372人	7,628人	1,349人	823人	2,172人	28.5%

⑦ 報告書の表記について

- 本報告書の中の表の数値は、上段が回答者数、下段が構成比（回答者数を母数（N=またはn=で表示）にした比率）を表しています。
- 構成比は小数点以下第2位で四捨五入しているため、表示した構成比の合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答の場合は「(複数回答)」、回答数に上限がある場合は「(回答〇つまで)」と表示しています。複数回答の比率の合計は100%を超えます。
- グラフ中で0.0%の場合は、表示を省略している場合があります。

